

第 3 章

ごみ処理の現状

第1節 処理システム

本地域の現状のごみ処理システムは、図3-1、3-2のとおりです。

現状でのごみ処理システムは、両市で別々なものとなっています。なお、伊豆市では、土肥地区が他の3地区と異なる処理システムとなっています。

伊豆の国市では、現在、長岡地区、大仁地区の可燃ごみは長岡清掃センターで焼却処理を行い、その残さを大仁一般廃棄物最終処分場で埋立処理を行っています。また、萑山地区では萑山ごみ焼却場で焼却処理を行い、その残さを萑山一般廃棄物最終処分場で埋立処理を行っています。ただし、萑山ごみ焼却場から排出される残さの一部は、民間事業者の施設で処理されています。

また、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみは大仁リサイクルセンター、萑山リサイクルプラザ、大仁清掃センターで資源ごみと資源化できないものに選別し、積極的な資源化を進めています。なお、資源ごみのうち、古着類、発泡スチロールトレイ、乾電池などは、民間事業者の協力を得て、そのまま資源化を進めているものもあります。

伊豆市では、現在、修善寺地区、中伊豆地区、天城湯ケ島地区の可燃ごみは伊豆市清掃センター（以下「清掃センター」という。）で、土肥地区では伊豆市沼津市衛生施設組合土肥戸田衛生センター（以下「土肥戸田衛生センター」という。）で焼却処理を行い、その残さは、柿木一般廃棄物最終処分場で埋立処理を行っています。

また、修善寺地区、中伊豆地区、天城湯ケ島地区の不燃ごみ、粗大ごみ、有害ごみ、資源ごみは伊豆市清掃センターで、土肥地区では伊豆市土肥リサイクルセンター（以下「土肥リサイクルセンター」という。）で資源物と資源化できないものに選別し、積極的な資源化を進めています。なお、資源物のうち、ペットボトル、プラスチック類は、民間事業者の協力を得て、そのまま資源化を進めているものもあります。

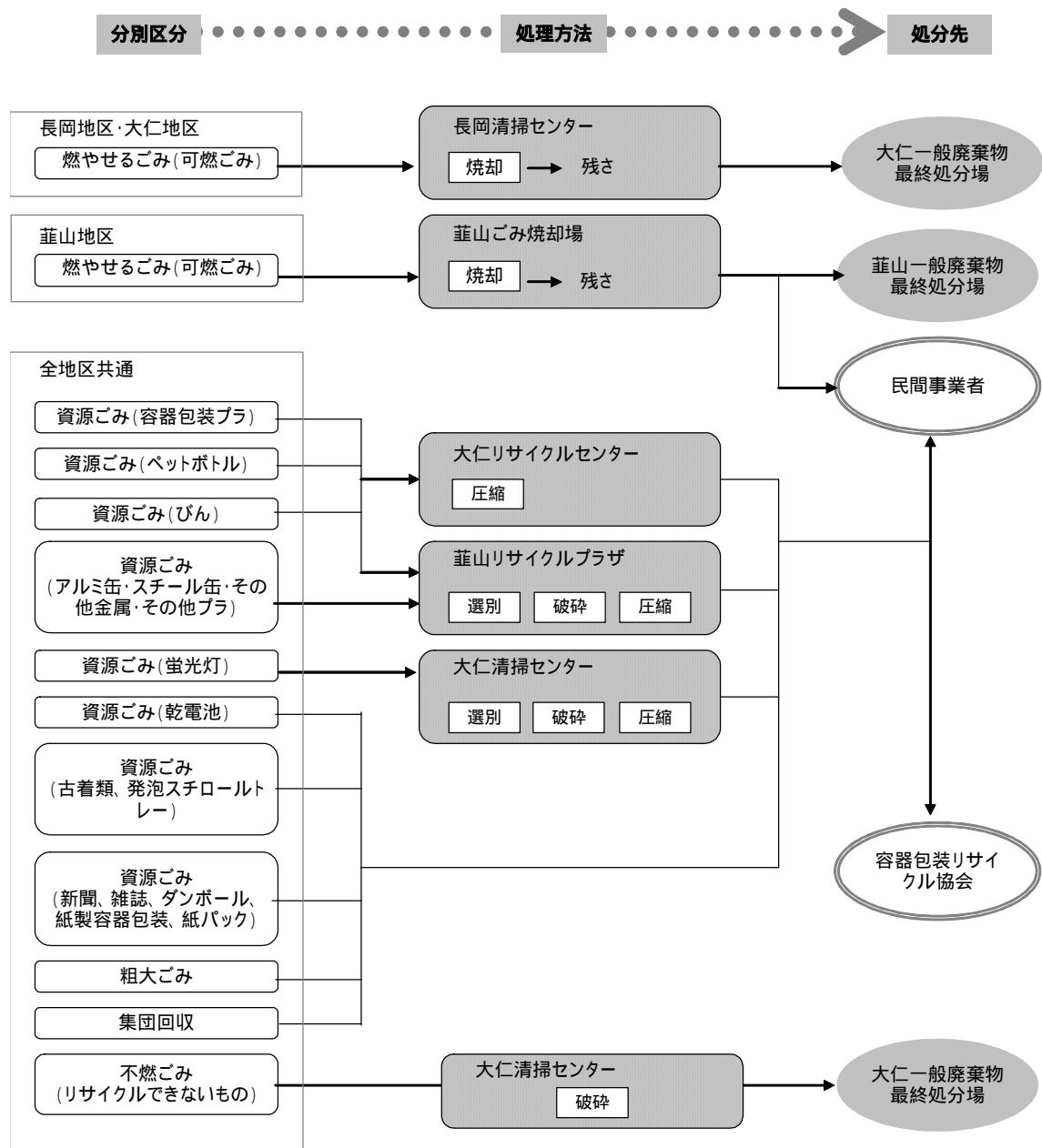


図 3-1 現状のごみ処理システム (伊豆の国市)

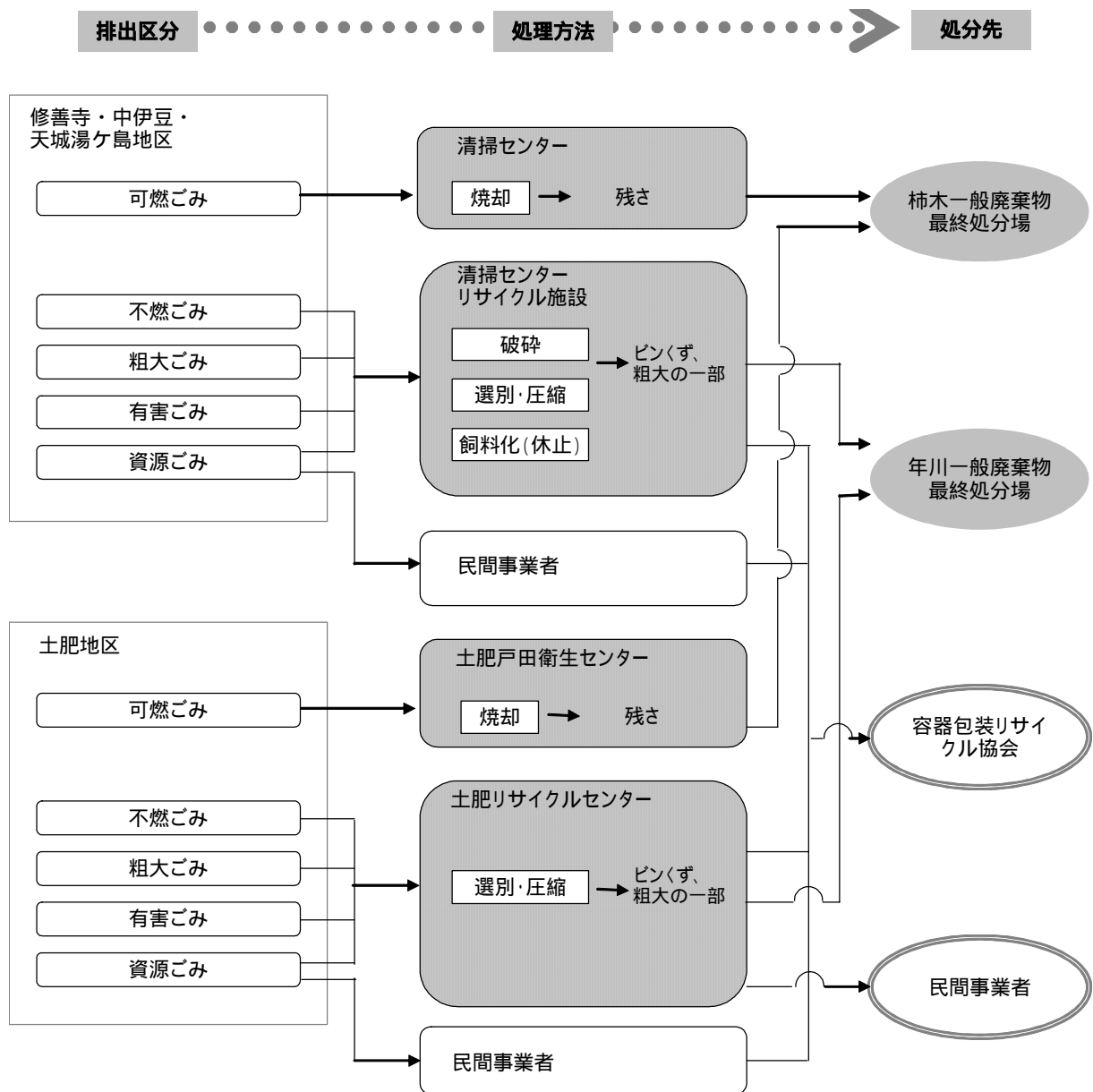


図 3-2 現状のごみ処理システム (伊豆市)

第2節 現有施設

伊豆の国市、伊豆市が所有する現有施設（民間委託分を除く。）は表3-1のとおりです。

伊豆の国市における可燃ごみの処理施設は、長岡清掃センター、葦山ごみ焼却場があり、竣工年はそれぞれ昭和57年、昭和49年となっています。

長岡不燃物処理施設は、現在稼働を休止しています。最終処分場では、長岡一般廃棄物最終処分場は、現在休止中です。

伊豆市における可燃ごみの処理施設は、清掃センター、土肥戸田衛生センターがあり、竣工年はそれぞれ昭和61年、昭和62年（平成14年に基幹整備）となっています。

清掃センターの中で、飼料化施設は、現在稼働を休止しています。最終処分場では、年川一般廃棄物最終処分場の埋立残量が少なくなっており、現在、拡張工事を進めています。

表3-1 現有施設

施設名		事業主体	現有施設の内容		
			型式及び処理方式	処理能力(単位)	開始年月
焼却施設	長岡清掃センター	伊豆の国市	准連続燃焼式（流動床式）	32t/16h	S57.4竣工
	葦山ごみ焼却場	伊豆の国市	機械化バッチ燃焼式（ストーカ式）	20t/8h	S49.9竣工
	清掃センター	伊豆市	准連続燃焼式（ストーカ式）	50 t / 16 h	S61.4竣工
	土肥戸田衛生センター	伊豆市	機械化バッチ燃焼式（ストーカ式）	30 t / 8 h	S62.4竣工
焼却施設以外の中間処理施設	長岡不燃物処理施設	伊豆の国市	選別・破碎（粗大ごみ 他）	15t/5h	S57.3竣工
	葦山リサイクルプラザ		選別・破碎・圧縮（プラスチック・缶）	8t/5h	H9.9竣工
	大仁清掃センター		選別・破碎・圧縮（リサイクル不可物・蛍光灯）	15t/5h	S55.3 竣工
	大仁リサイクルセンター		圧縮（ペットボトル・びん）	1.2t/5h	H11.3 竣工
	清掃センターリサイクル施設	伊豆市	破碎（粗大ごみ）	5 t / 5h	H9.4 竣工
			選別・圧縮（金属不燃物）	5 t / 5h	H元.4 竣工
			飼料化（厨芥）	5 t / 5h	S54.5 竣工（現在休止中）
土肥リサイクルセンター		選別・破碎・圧縮（土肥地区）	5 t / 5h	H8.3 竣工	
最終処分場	葦山一般廃棄物最終処分場	伊豆の国市	サンドイッチ工法	16,000m ³	H2.4
	大仁一般廃棄物最終処分場			33,654m ³	H6.4
	大仁第2一般廃棄物最終処分場			2,779m ³	H3.12
	長岡一般廃棄物最終処分場			3,749m ³	H4.6
	柿木一般廃棄物最終処分場	伊豆市		34,580m ³	H7.9
	年川一般廃棄物最終処分場			36,038m ³	S62.4
	小峰一般廃棄物最終処分場			1,900m ³	S57.4

第3節 分別区分と収集体制

伊豆の国市、伊豆市の現状の分別区分及び収集体制は表 3-2、3-3、3-4 のとおりです。処理システムと同様に、現状での分別区分と収集体制は、両市で別々なものとなっています。

表 3-2 分別区分及び収集体制（伊豆の国市）

区分	項目	ごみの種類	収集容器	収集回数	搬入先
可燃ごみ		生ごみ・紙くず・紙おむつなど	指定ごみ袋	週2回	韮山ごみ焼却場 長岡清掃センター
不燃ごみ		コップ・セトモノ・板ガラスなど	コンテナ	月1回	大仁清掃センター
資源ごみ	プラスチック製包装容器	レジ袋・ポリ袋・包装用フィルムなど	指定ごみ袋	週1回	韮山リサイクルプラザ 大仁リサイクルセンター
	紙類	紙パック、新聞・チラシ・雑誌・ダンボール・紙製容器包装	白い紙ひもで縛る	月2回	民間事業者
	古着類	古着類			
	発砲スチロールトレイ	発砲スチロールトレイ	指定容器		
	缶類	アルミ缶・スチール缶	指定容器	月1回	韮山リサイクルプラザ (一部、民間事業者)
	その他金属	アルミ箔・金属のキャップ・家電製品・鉄くずなど			
	乾電池	乾電池	コンテナ		
	その他のプラスチック類	ポリバケツ・ハンガー・CDなど	指定ごみ袋		
	ペットボトル	ペットボトル	指定容器	月2回	
	びん類	一升びん、透明びん、色びん	コンテナ	月1回	大仁リサイクルセンター
蛍光灯	蛍光灯・電球	大仁清掃センター			
粗大ごみ		タンス・ふとん・自転車など	現物	随時	民間事業者

表 3-3 分別区分と収集体制（伊豆市/修善寺地区・中伊豆地区・天城湯ヶ島地区）

区分		項目	ごみの種類	収集容器	収集回数	搬入先	
可燃ごみ			生ごみ・紙くず・紙おむつなど	指定ごみ袋	週2～3回	清掃センター	
不燃ごみ			びん以外	コンテナ	月1～2回		
			蛍光灯・乾電池				
資源ごみ	発泡スチロール・トレイ	発泡スチロール・トレイ	ネット	コンテナ	月2～3回		
	缶類	アルミ缶・スチール缶	コンテナ				
	その他金属	缶以外の金属類					
	びん類	びんなど					
	紙類	新聞・雑誌・紙パック・ダンボール	紐で束ねる				月1～2回
	ペットボトル	ペットボトル	ネット				月2～3回
プラスチック類	プラスチック容器						
	フィルム系・袋類 プラスチック製品						
粗大ごみ			タンス・ふとん・自転車など	現物	随時	清掃センター	

表 3-4 分別区分と収集体制（伊豆市/土肥地区）

区分		項目	ごみの種類	収集容器	収集回数	搬入先
可燃ごみ			生ごみ・紙くず・紙おむつ等	指定ごみ袋	週3回	土肥戸田衛生センター
不燃ごみ			びん以外 蛍光灯・乾電池	コンテナ	月2～3回	土肥リサイクルセンター (一部、民間事業者)
資源ごみ	発泡スチロール・トレイ	発泡スチロール・トレイ	ネット			
	缶類	アルミ缶・スチール缶	コンテナ			
	その他金属	缶以外の金属類				
	びん類	びんなど				
	紙類	新聞・雑誌・紙パック・ダンボール	紐で束ねる			
	ペットボトル	ペットボトル	ネット			
プラスチック類	プラスチック容器 プラスチック製品					
粗大ごみ			タンス・ふとん・自転車等	現物	随時	土肥戸田衛生センター 土肥リサイクルセンター

第4節 ごみ排出量の推移

伊豆の国市、伊豆市のごみ排出量を図 3-3、3-4 に整理します。また、図 3-5 に両市の排出量実績を合計した本地域全体の排出量を示します。

伊豆の国市の人口及びごみ発生量は、ほぼ一定で推移しています。

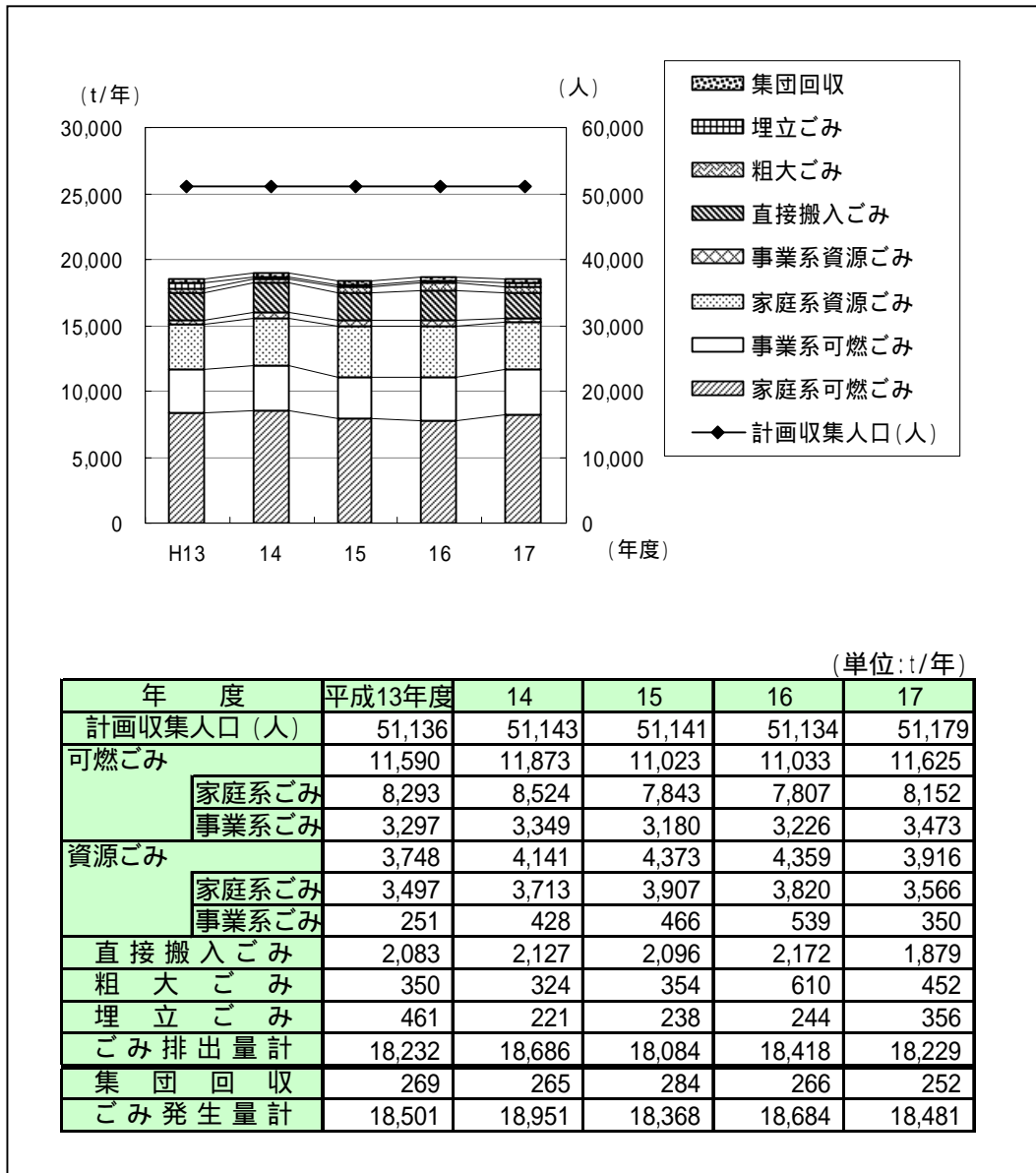


図 3-3 ごみ排出状況 (伊豆の国市)

伊豆市では、人口の減少に伴い、ごみの排出量は微減傾向にあります。

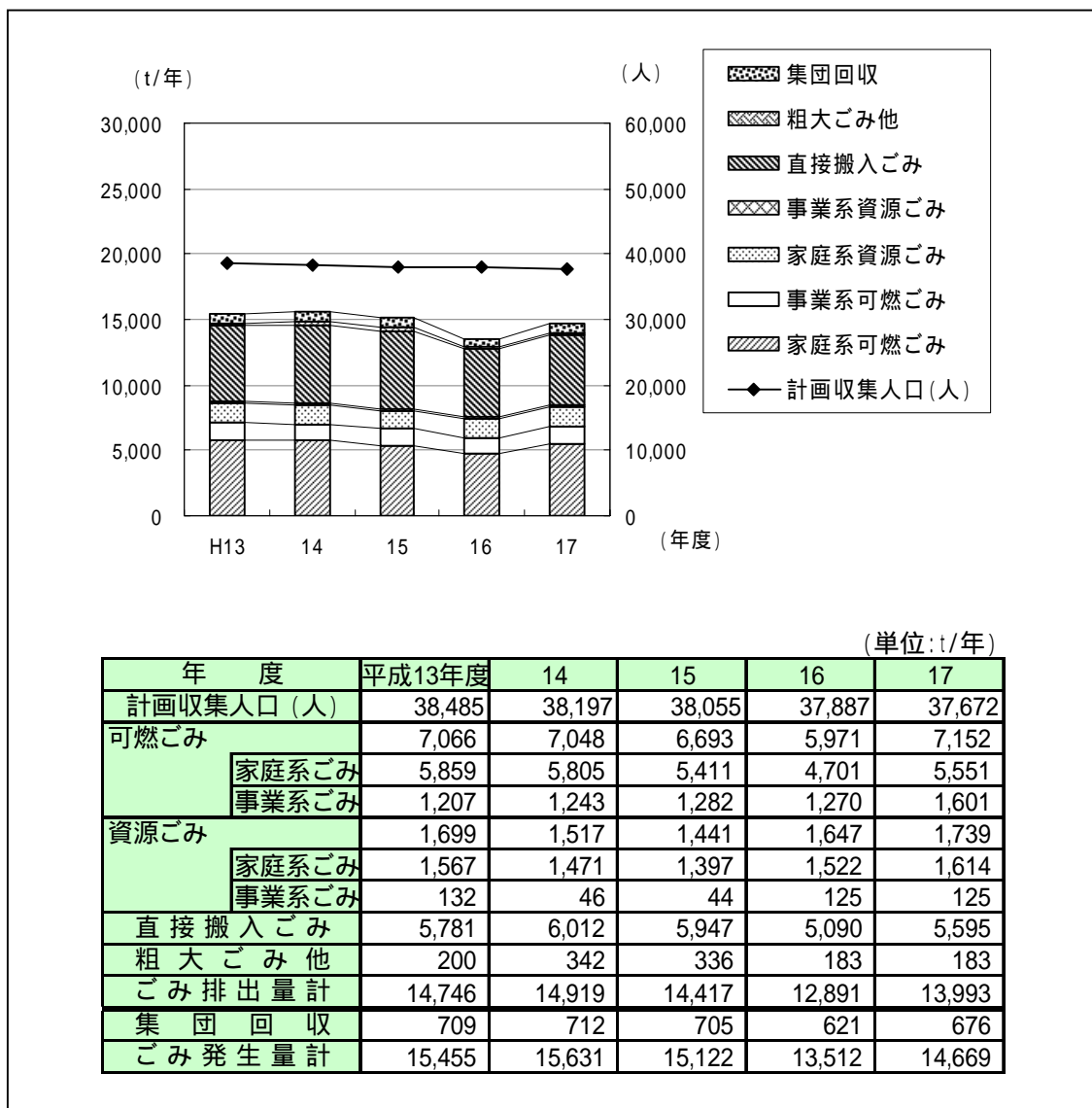


図 3-4 ごみ排出状況 (伊豆市)

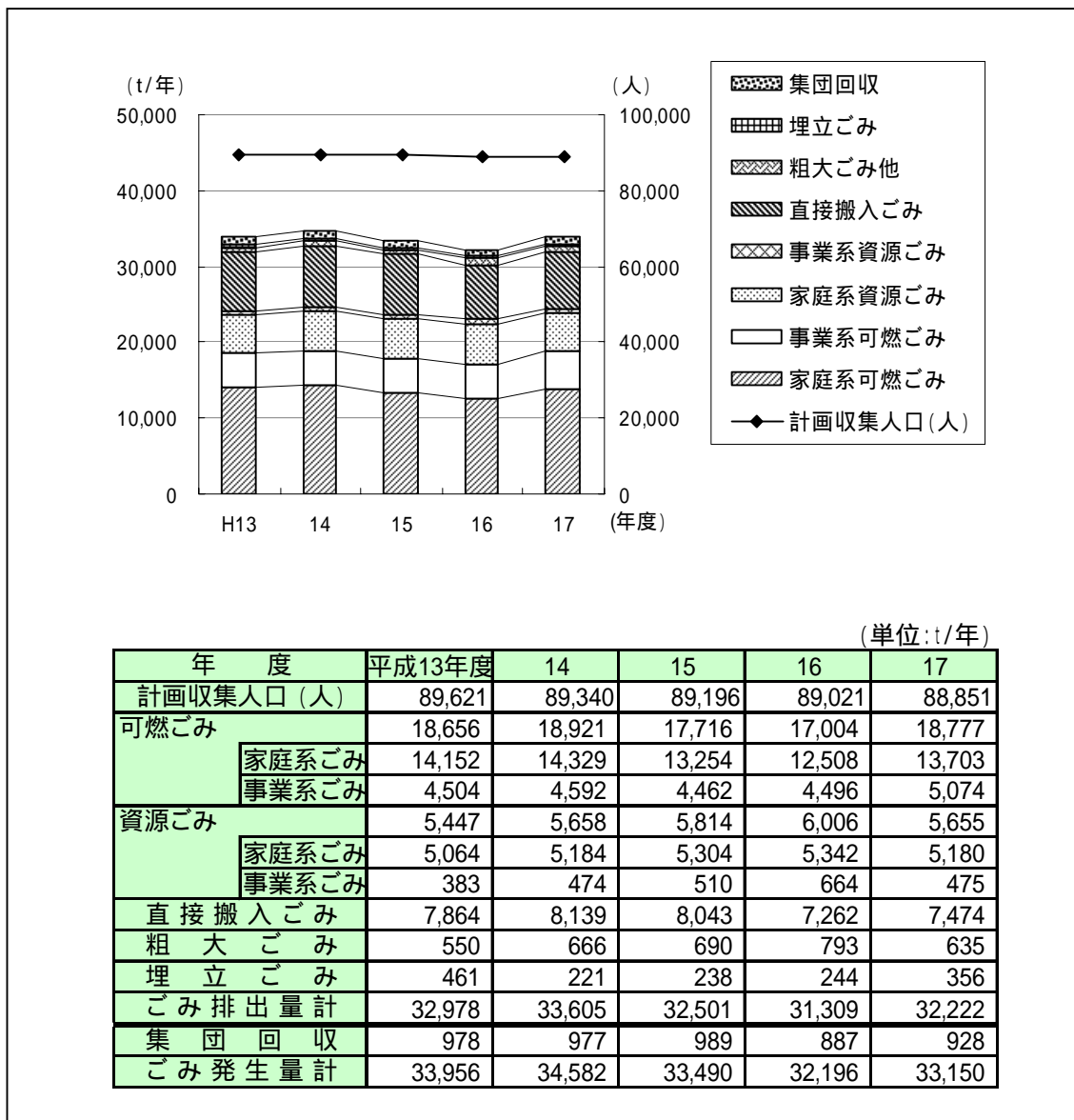


図 3-5 ごみ排出状況（両市合計）

第5節 ごみの組成

伊豆の国市の焼却処理施設（長岡清掃センター、葦山ごみ焼却場）及び伊豆市の焼却処理施設（清掃センター、土肥戸田衛生センター）の焼却対象ごみの組成を図 3-6、3-7 に示します。全ての焼却施設において、紙・布類が約 6 割を占めています。

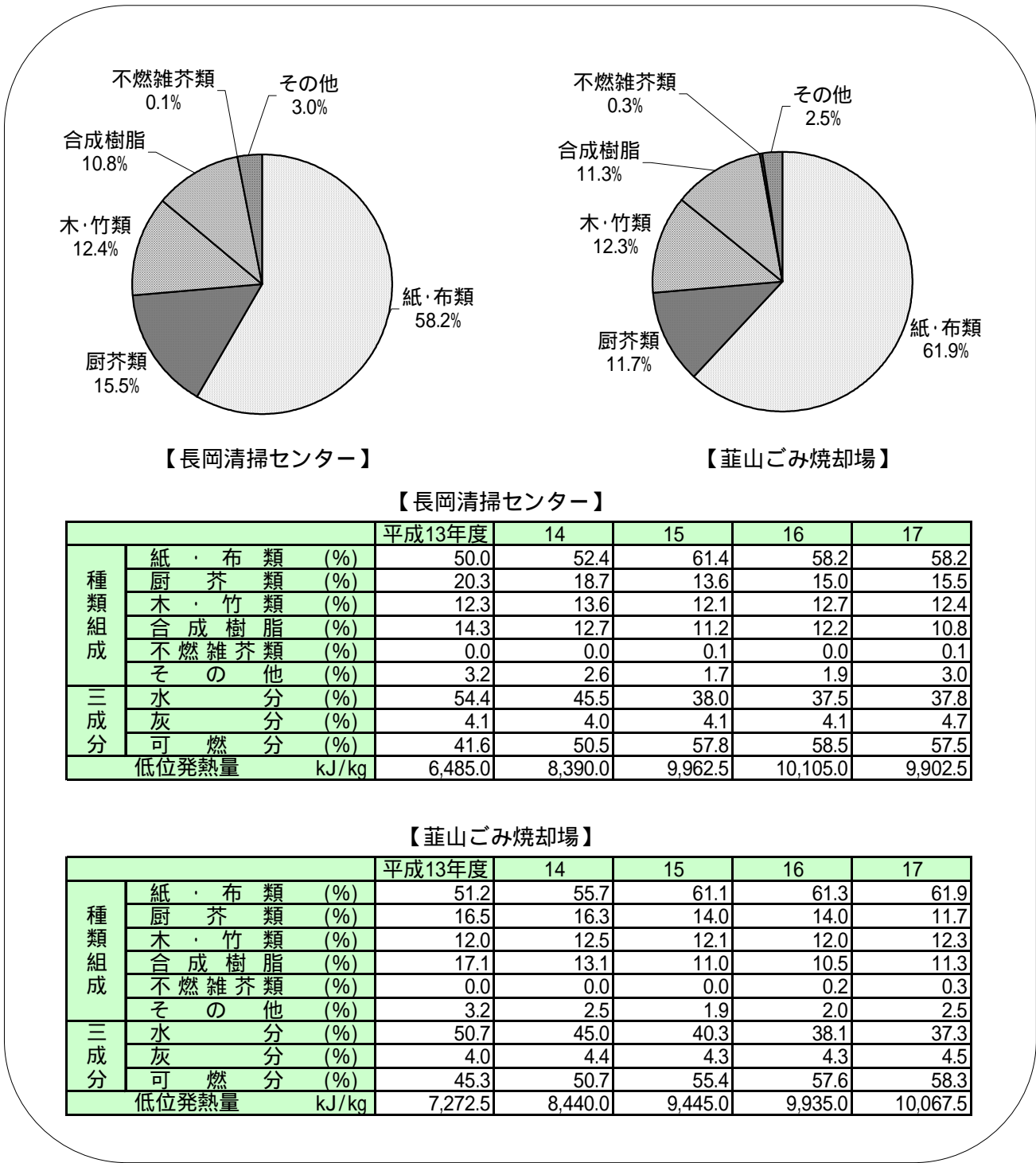
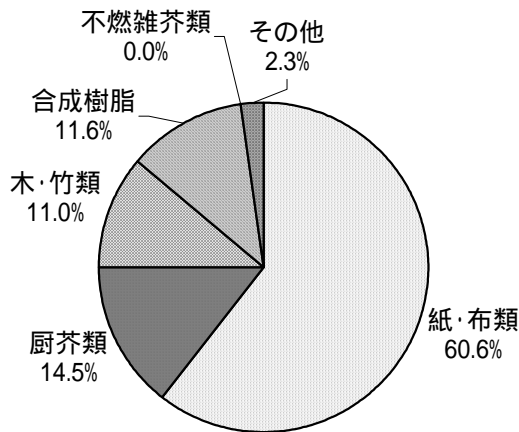
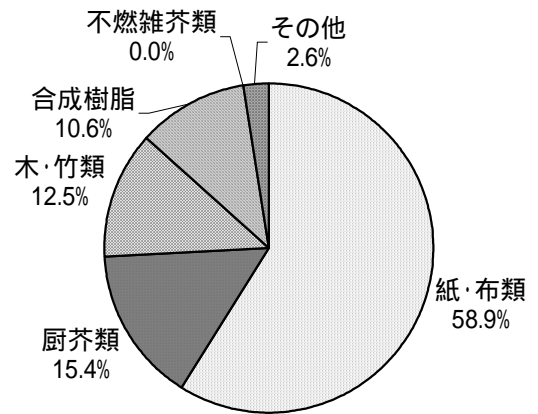


図 3-6 平成 17 年度における可燃ごみ処理施設のごみ組成（伊豆の国市）

低位発熱量：単位質量(1kg 当り)の燃焼が完全燃焼した時に発生する熱量が「発熱量」ですが、燃料には水分が含まれているため、水(液体)から水蒸気(気体)にするための熱エネルギー(潜熱)を除いたものを、低位発熱量(真発熱量)といいます。一方、水蒸気の蒸発潜熱を含んだものを高位発熱量(総発熱量)といいます。



【清掃センター】



【土肥戸田衛生センター】

【清掃センター】

		平成13年度	14	15	16	17
種類組成	紙・布類 (%)	51.5	53.3	60.4	59.1	60.6
	厨芥類 (%)	18.7	18.0	14.4	11.5	14.5
	木・竹類 (%)	13.2	13.5	12.2	13.1	11.0
	合成樹脂類 (%)	13.4	12.5	11.3	14.3	11.6
	不燃雑芥類 (%)	0.3	0.3	0.1	0.2	0.0
	その他 (%)	2.9	2.4	1.6	1.8	2.3
三成分	水分 (%)	52.4	45.2	38.0	35.8	37.5
	灰分 (%)	4.2	4.2	4.4	4.1	4.7
	可燃分 (%)	43.4	50.6	57.6	60.1	57.8
低位発熱量 kJ/kg		6,906.9	8,413.9	9,962.7	10,465.0	9,962.7

【土肥戸田衛生センター】

		平成13年度	14	15	16	17
種類組成	紙・布類 (%)	49.1	51.3	59.5	56.1	58.9
	厨芥類 (%)	23.5	17.6	15.0	19.0	15.4
	木・竹類 (%)	11.8	14.4	12.0	12.0	12.5
	合成樹脂類 (%)	12.0	14.5	11.8	10.8	10.6
	不燃雑芥類 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他 (%)	3.6	2.2	1.7	2.1	2.6
三成分	水分 (%)	57.0	52.0	41.9	42.9	42.1
	灰分 (%)	4.2	3.6	3.9	4.1	4.2
	可燃分 (%)	38.8	44.0	54.2	53.0	53.7
低位発熱量 kJ/kg		5,902.3	6,990.6	9,167.3	8,916.2	9,083.6

図 3-7 平成 17 年度における可燃ごみ処理施設のごみ組成 (伊豆市)